

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和5年度第3回学術集会プログラム等検討委員会議事録

日 時: 令和5年11月14日(火)20時30分～21時00分

場 所: Web会議

出席委員: (担当理事)根尾昌志、(委員長)渡辺雅彦、(理事長)波呂浩孝、中村雅也、大鳥精司、土井田稔、松山幸弘、伊東学、種市洋、高相晶士、永島英樹、長谷川和宏、川口善治、山田宏

オブザーバー: 酒井大輔(第53回事務局)、井上玄(第54回事務局)

報告事項

1. 前回議事録の確認
2. 理事会報告(根尾昌志担当理事): 特に無し

審議事項

1. 第56回学術集会について(川口善治会長、長谷川和宏会長): コンベンション会社の選定について資料に基づき説明された。インタープラン、コングレ、日本コンベンションサービスの3社から見積もりの提出があったが、インタープランが最も要望に対して真摯な対応であったこと、担当者のこれまでの実績および人柄が信頼できること、京都国際会館での経験も豊富であること、収入見積もりが最も現実的であったこと、等の理由から(株)インタープラン・コーポレーションを推薦したいとの提案がなされた。多くの委員が担当者との実務経験もあり、全員一致で会長の提案通り、第56回学術集会コンベンション会社として(株)インタープラン・コーポレーションを理事会へ上申することとなった。
2. 第57回学術集会について(山田宏会長): 京都国際会館で準備を進めている旨の報告がなされた。
3. 会長立候補時の提出書類について(川口善治委員): 会長立候補時に所信、学会への貢献度、日本脊椎脊髄病学会および他の脊椎領域における業績等の提

出を求める事の提案がなされた。会長選考は評議員会で行われるため全評議員へ詳細なデータを開示する事の妥当性、また業績については組織が大きいほど有利であり大学に所属していない会員の立候補機会が減る危険性があること、等の懸念事項が議論された。しかしながら、所信等は非常に重要であり、今後の立候補については学術集会の開催にむけての所信を提出頂き開示し、選考の一助とすることとなった。

4. 次回委員会の日程調整および今後の委員会の開催スケジュールについて:コロナ禍以前は年3-4回開催されており、今後もその程度の開催が望ましいとの意見となった。次回は第53回の学術集会の準備状況について1月か2月頃にWeb会議を開催することとなった。

以上